

Electric Bicycle

# USER MANUAL

取扱説明書



COSWHEEL EV SCOOTER

COSWHEEL SMART EV

合本版

<https://coswheel.jp/>

株式会社Acalie



次世代型電動モビリティの頂点へ!

COSWHEEL 2車種同時リリース!!



COSWHEEL  
EV SCOOTER  
2WAYライド(立ち・座り)可能 電動キックスケーター

COSWHEEL EV SCOOTER  
立ち・座り2ポジションでのライドが可能。スマーズで安定感のある大型タイヤ、大容量で長距離走れるポータブルバッテリー、スタイリッシュなデザイン、フォールディングも可能。  
定価：12万6500円(税込)



COSWHEEL（コスウェル）製品へのお問い合わせは、株式会社 Acalie  
〒451-0034 愛知県名古屋市西区橘の口町1-15 ホーフビル2階  
TEL: 052-750-0362 FAX: 052-308-6589 <https://coswheel.jp/>

# 目 次

目次 -----	01	警告表示について -----	03
はじめに -----	02	安全上のご注意 -----	04-08

## Model:COSWHEEL EV SCOOTER

各部のなまえ -----	09-10
組み立てのしかた-----	11-13
ハンドル部の取り付け -----	11
サドルの取り付け -----	12
バックミラーの取り付け-----	13
充電のしかた-----	14
液晶マルチファンクション	
ディスプレイ取扱説明-----	15-20

キックボードの乗り方 -----	21-25
電動キックボードの起動のしかた -----	21
ヘッドライトの付け方 -----	22
ワインカー・ブレーキランプの付け方 -----	23
リモコンと防犯機能の使い方 -----	24-25
日常点検チェックシート-----	26-27
製品仕様 -----	28

## Model:COSWHEEL SMART EV

各部のなまえ -----	29-30
組み立てのしかた-----	31-38
前輪の取り付け-----	31
ハンドル部の取り付け-----	32
前ウインカーの取り付け-----	33
ヘッドライトの取り付け-----	34
サドルの取り付け-----	35
ペダルの取り付け-----	36
テールランプの取り付けとウインカーと使い方-----	37
バックミラーの取り付け-----	38
充電のしかた-----	39-40

液晶マルチファンクション -----	41-44
ディスプレイの取扱い説明	
バイクの乗り方-----	45
各種パラメーター -----	46
詳細設定の説明	
ハイブリッド・電動バイク-----	47
自転車モードの走行	
COSWHEEL SMART EV -----	48-49
日常点検チェックシート	
製品仕様 -----	50

---

保管と手入れ -----	51
点検・整備項目-----	52
故障かな? と思ったら-----	53-54

製品保証 -----	55-56
保証書 -----	57

## はじめに

### ★法律遵守と保安基準

道路交通法と保安基準に適合する保安部品は標準装備されます。

- ・前照灯
- ・番号灯 / 尾灯
- ・警音器
- ・後写鏡
- ・制動灯
- ・方向指示器(前後ウインカー)
- ・速度計

### ★公道走行

法律上は原動機付自転車となります、公道走行の際、以下の点をお守りください。

- 1、ナンバー登録が必須です
- 2、自賠責保険への加入が必須です
- 3、ヘルメットの着用が必須です
- 4、第一種原動機付自転車を運転することができる免許の携帯が必須です
- 5、車道を走る必要があります

この取扱説明書では、COSWHEEL EV SCOOTERとCOSWHEEL SMART EVの取扱い方法を説明しています。

取扱説明書をよく読み、内容を理解したうえで正しくご使用ください。

取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。

- 製品の仕様変更などにより、本書に記載のイラストや内容が実際の製品と多少異なる場合があります。
- この取扱説明書の記載内容については、予告なしに変更することがあります。
- 本製品を贈呈や貸与する場合は、本書及び購入時に添付されていた書類一式を必ず製品に添付してください。

## 警告表示について

### ●安全にご使用いただくために

ご使用になる方や他の方への危害、財産への損害と電動バイクの損害を未然に防止するために本書に記載されている内容をよく理解していただき、警告・注意・禁止事項を必ずお守りください。

\*不注意や誤った操作などは事故につながる恐れがあります。本書・別紙、本体ラベルに記載されている内容をよく理解していただき、各記載事項をお守りください。

### ●表示マークについて

ご使用になる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で、区分し、説明しています。

**▲ 警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

**▲ 注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

### **▲ 強制**

- 異常を発見したら販売店にご相談ください。
- 変形、ひび割れなど異常のある部品は必ず交換してください。
- 曲がりを直しての再使用は破損の原因になりますので絶対にしないでください。

## 安全上のご注意

### バッテリー/充電アダプタのコード・プラグについて

#### ⚠ 警告

**電源プラグや充電プラグを濡れた手で抜き差ししない**

感電するおそれがあります。

**電源プラグや充電プラグは根元まで完全に差し込む**

感電や火災のおそれがあります。

**火の中に入れたり、加熱したりしない**

火災や破裂によりケガをするおそれがあります。

**窓を閉めきった車中や直射日光のあたるところ、高温になるところにバッテリーを放置しない**

火災や破裂によりケガをするおそれがあります。

**屋外の雨に濡れるところや浴室・洗面台など水のかかる場所で充電したり、保管・放置しない**

感電や火災のおそれがあります。

**発電アダプタ・コード・プラグが傷んだものは使用しない**

感電や火災のおそれがあります。

**幼児の手の届くところに置かない**

感電やケガのおそれがあります。

**分解や改造はしない**

感電や火災のおそれがあります。

**端子間に金属などを接触させない。また、針金などの金属の上に置いたり、一緒に保管・放置しない**

感電や火災のおそれがあります。

**バッテリーを長期間、放置しない**

長期間の保管はバッテリーの劣化の原因となります。目安として3ヶ月に1回は充電してください。

## 安全上のご注意

### バッテリー/充電アダプタのコード・プラグについて(つづき)

#### ⚠ 警告

バッテリー・充電アダプタ・コードは専用のため、他の機種やその他の用途には使用しないこと  
火災や破裂によりケガをするおそれがあります。

バッテリーを充電する場合は、専用の充電アダプタを使用し、指定の充電条件を守ること  
他の充電機器を使用すると、火災やバッテリーの破裂により怪我をするおそれがあります。

電源はAC100～240V(50/60Hz)を使用すること。また、コンセントやコードは定格内で  
使用すること  
定格外のものを使用すると火災のおそれがあります。

充電中:充電中：バッテリーやアダプタの放熱を妨げないこと。上に物をしないこと  
火災のおそれがあります

塵やほこりの多い場所で充電したり、保管しないこと  
火災のおそれがあります。

充電中はパッテリーやアダプタに皮膚が長時間触れないこと  
低温やけどのおそれがあります。

バッテリーやアダプタは平らなところに置くこと  
バッテリーやアダプタが落下し、ケガをするおそれがあります。

充電が完了したら、プラグをバッテリーから外すこと  
差し込んだまま放置すると火災のおそれがあります。

コードの抜き差しはプラグを持って行うこと  
コードが傷つき、感電や火災のおそれがあります。

コードを持ってバッテリーやアダプタを持ち上げたり、ひっぱったりしないこと  
コードが傷つき、感電や火災のおそれがあります。

コードやプラグをショートさせないこと  
火災のおそれがあります。

## 安全上のご注意

### バッテリー/発電アダプタのコード・プラグについて(つづき)

#### ⚠ 警告

##### バッテリーやアダプタを落下させたり、衝撃を与えたたりしないこと

バッテリーやアダプタが破損し、火災のおそれがあります。

##### コードを破損させないこと

感電や火災のおそれがあります。

##### プラグにゴミや土、油が着かないようにすること

感電や火災のおそれがあります。

##### お手入れの際、ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉などは使用しないこと

部品傷つき、火災のおそれがあります。

##### 長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと

感電や火災のおそれがあります。

##### 一般のゴミと一緒に捨てないこと

火災や破裂によりケガをするおそれがあります。破棄する際は自治体にご確認頂き、従ってください。

##### 万一、バッテリーから液が漏れた場合は、以下の注意事項を守ること

- ・皮膚や衣服につけないように注意する
- ・目に入った場合直ちにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受ける
- ・皮膚についた場合は直ちにきれいな水洗い流し、医師の治療を受ける

##### バッテリーやアダプタが以下のときには、速やかに使用中止し、購入の販売店に連絡すること

- ・水没させたとき
- ・内部に水や異物が入ったとき
- ・落下させたとき
- ・強い衝撃を受けたとき
- ・ケースが破損したとき
- ・異音が発生したとき
- ・発煙があったとき
- ・異臭がしたとき

##### バッテリー接続部に磁気を帯びたものを近づけないこと

バッテリーの故障の原因となります。

## 安全上のご注意

### Smart e-Bike



#### 操作スイッチを「ON」にしたまま、駐車、停止、バイクの押し歩きをしない

足や荷物がペダルに触れると電動補助力が働き、転倒やケガのおそれがあります。

#### 走行中に操作スイッチを注意を払って操作する。あるいは停止してから行う

転倒や事故のおそれがあります。

#### バイク車体やアシストユニットを分解、改造しないこと

感電やケガをするおそれがあります。

## 安全上のご注意

### Smart e-Bike

#### ▲ 注意

**走行中に異音が発生したり、異常だと思ったら使用を中止して販売店で点検・整備すること**  
そのまま使用を続けると事故の原因となるおそれがあります。

#### **必ず平らな場所に駐輪すること**

平らな場所に駐輪しないと、電動バイクが倒れてケガをするおそれがあります。

#### **走行直後はアシストユニットにふれないこと**

アシストユニットが高温になっていることがあり、やけどのおそれがあります。

## 各部のなまえ



車体番号刻印場所

標識番号（ナンバー）取得には車体番号が必要のため、お手続きなさる前に、販売証明書に車体番号のご記入を宜しくお願い致します。



## 各部のなまえ



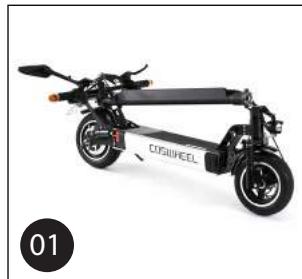
## 付属品

簡易工具

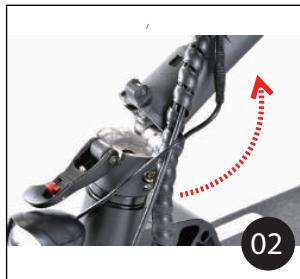
## 組み立てのしかた



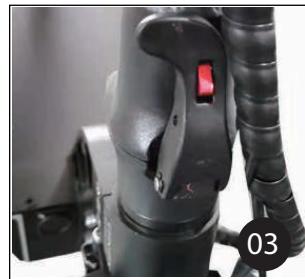
### ハンドル部の取り付け



01



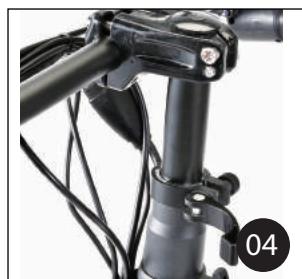
02



03

▶ ポストを直します。

▶ クイックレバーでポストを固定します。



04



05



06

▶ ハンドル固定ユニットを外します。

▶ ハンドル固定ユニットでハンドルを固定します。

固定後、クリックレバーでしっかりと固定します。

▶ 六角レンチでしっかりとネジを締めて、ハンドルを固定します。

● サドルの取り付け



01



02

- ➡ シートポストレバーをしっかりと固定します。



## バックミラーの取り付け



- ▶ バックミラーをつきます



 充電のしかた



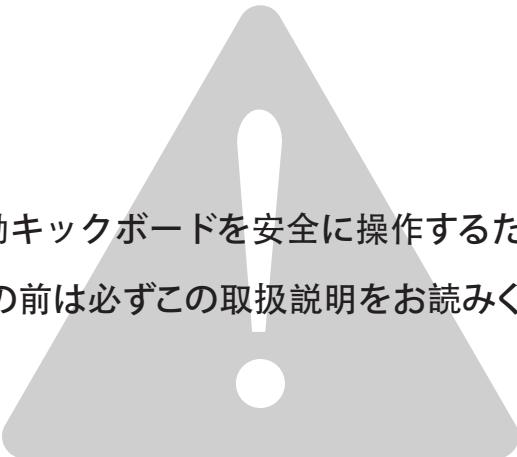
- 充電器のランプは、充電中に赤く表示され、充電完了時は緑になります。

液晶マルチファンクションディスプレイ  
取扱説明

---



COSWHEEL EV SCOOTERメーターディスプレイは、独自なデザインを採用し  
明るいLEDスクリーンは日光の下でも明晰に見える  
夜間モードは、優しい表示になり、安全性が高い



電動キックボードを安全に操作するために、  
ご使用の前は必ずこの取扱説明をお読みください。



長押しすることで、電源をオン、オフにすることができます  
(リモコンで電源起動した状態で)



パワーランク(1～3)を上げるボタンです。



パワーランク(1～3)を下げるボタンです。

※パワーランク

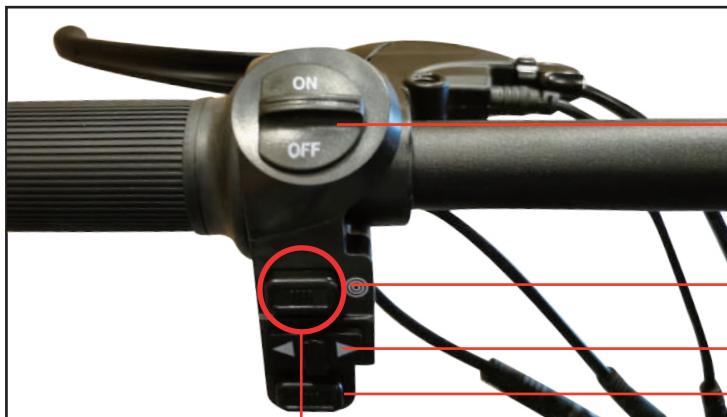
1: 23KM/H

2: 32 KM/H

3: 45 KM/H

以上はバッテリー満タンで空回しの状態での数値です。

# 18 取扱説明書 Model:COSWHEEL EV SCOOTER



ヘッドライトのハイビームモードとロービームモードを切り替えるボタンです。  
(ONはハイビーム、OFFはロービームです)

オートクルーズ機能のボタンです。

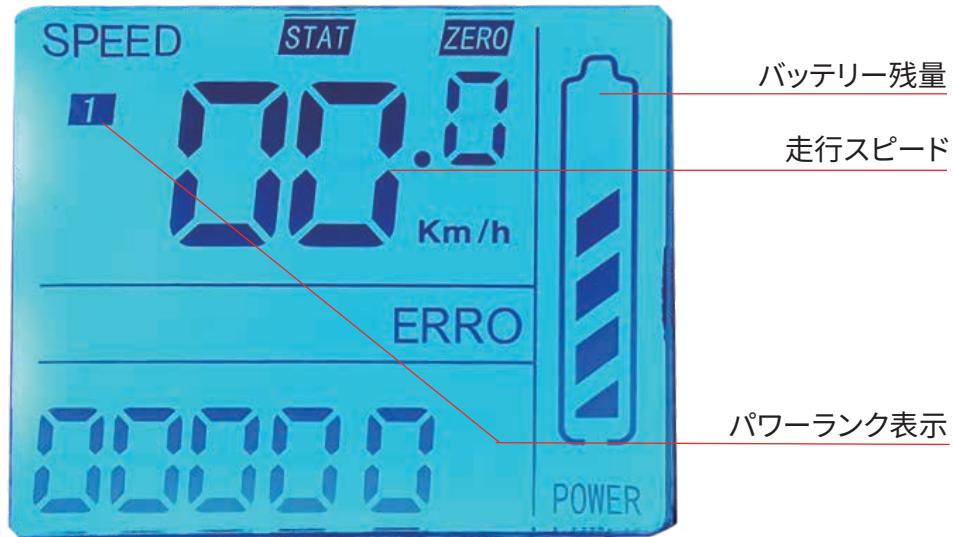
左右のウインカーをつけるボタンです。

クラクションです。

オートクルーズ(クルーズコントロール)機能:走行中にこのボタンを押すと、バイクは一定のスピードをキープしてくれます。長時間運転による疲労軽減に役立つ経つ機能です!



## 外観と説明



## バッテリー残量表示

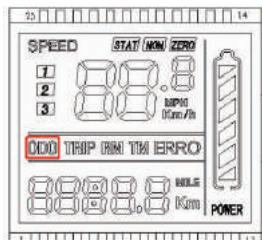
バッテリー残量表示はLED段数に示されます。

点滅する時は、バッテリーが残量不足になり、充電を要します。

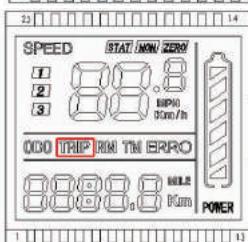


## スイッチングの表示

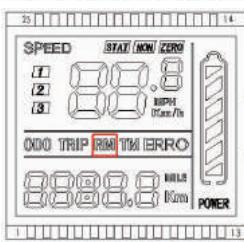
液晶ディスプレイを起動した状態で、**④**を押すことで、下記のように、ODO、TRIP、RM、TM、ERROの順で、表示が変わります。



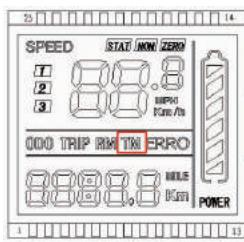
ODO:総マイレージ



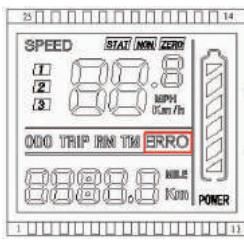
TRIP:シングルマイレージ



RM:※本車はこの機能なし。



TM:走行時間



ERRO:エラー

## キックボードの乗り方



### 電動キックボードの起動のしかた



①リモコンの電源起動ボタンを押します。



②液晶ディスプレイの電源起動ボタンを押します。



③パワーランク（1～3）を設定します。



④このボタンを押すことで、バイクは走行し始めます。



## ヘッドライトの付け方



- ▶ ヘッドライトは、電源が入るとともに点灯しますが、ONとOFFのボタンで、明るさの調整ができます。ONはハイビームで、OFFはロービームです。



02

- ▶ ヘッドライト点灯



- ▶ ヘッドライト上下方向を手動調整可能です



## ワインカー・ブレーキランプの付け方



01



02



03

▶ 左へ押すと

▶ 左前ワインカーポジション

▶ 左後ろワインカーポジション



04



05



06

▶ 右へ押すと

▶ 右前ワインカーポジション

▶ 右後ろワインカーポジション



07

▶ ブレーキを押すと



08

▶ ブレーキランプ点灯

## ※ リモコンと防犯機能の使い方



リモートロック ①

リモート電源起動 ②

リモートロック解除 ③

## ● リモコンと防犯機能の使い方



①このボタンを押すことで、電源を起動します。その後、液晶ディスプレイの電源ボタンを押すことで、車体が起動します。



②電源を入れた状態で、このボタンを押すことで、車体電源が消され、車体は防犯状態になります。

移動などされましたら、警音が出ます。液晶ディスプレイの電源ボタンで電源を消した状態でも、このボタンで防犯状態に入ります。



③電源を入れた状態で、このボタンを押すことで、車体電源が消されます。

防犯状態に入りません。

防犯状態の場合、このロック解除のボタンを押すことで、防犯状態を解除することができます。



## 日常点検チェックシート

バイクは、ご使用に伴い、各部が痛んだりネジがゆるんだりしてきます。これらを放置して使用を続けると大変危険です。安全にご使用頂くために、乗車前に必ず点検をお願いします。



①前輪を足で固定してハンドルを動かした時に、力を入れてもハンドルが回ったり、抜けたりしないことを確認する。

②スロットルを回した時に、スムーズに戻るかを確認する。  
※必ず電源を切った状態で行うこと。

③左右のブレーキレバーを強く握った時に、グリップとレバーの隙間が  $1/2 \sim 1/3$  になるまでに、ブレーキがロックすることを確認する。



④ハンドルポストの高さ調整レバーは確実に固定されていることを確認する。

⑤ハンドルポストのセーフティロック（黒いプラスティックのロック）はロックできるかを確認する。

⑥ハンドルポスト接合部分の溶接にひび割れがないかを確認する。



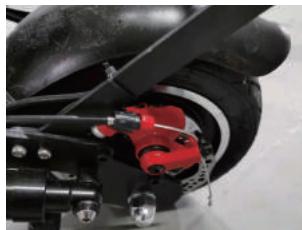
⑦サドルポストは、限界標識（MAX）が隠れるまで差し込まれているかを確認する。

⑧サドルポストの高さ調整レバーは確実に固定されていることを確認する。

⑨サドルの前後を持って、上下・左右に動かす。力を入れても回ったり、抜けたりしないことを確認する。



⑩前後のブレーキのワイヤーに、サビや切れがないか確認する。



⑪タイヤに十分空気が入っていて、空気圧はタイヤに記載した気圧範囲内になっていることを確認する。



⑫タイヤに布目が見えるような深いキズがないこと、接地面の模様が十分残っていることを確認する(残溝 1mm 以上)。



⑬前後輪ロックネジは緩みはないかを確認する。緩みはありましたら直ちに固定すること。



⑭サイドスタンドのネジがしっかりとしているかを確認する。



⑮テールランプやナンバープレートを取り付けるネジがしっかりと固定されているかどうかを確認する。  
ヘッドライトやウインカーなど、ほかの部品のネジも全部点検お願いします。

## 製品仕様

フレーム材質	6061アルミニューム
展開サイズ	L約117*W約70*H約100cm
折り畳みサイズ	L約117*W約70*H約47cm
バッテリー	48V/10A
充電時間	約4-5時間
車両重量	22kg
タイヤサイズ	10*2.5インチ
電動走行距離	約24~40km※気温・道路状況・負荷重量・走行速度により変化
定格出力	0.5kw
最高速度	約45km/h
負荷重量	100kg



## 各部のなまえ



### 車体番号刻印場所

標識番号（ナンバー）取得には車体番号が必要のため、お手続きなさる前に、販売証明書に車体番号のご記入を宜しくお願い致します。



## 各部のなまえ



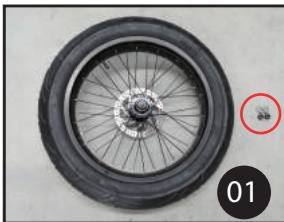
## 付属品

簡易工具

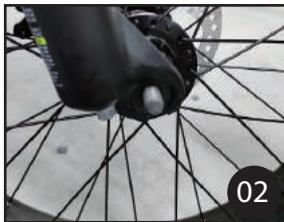
## 組み立てのしかた



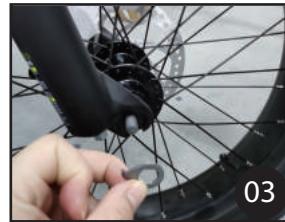
### 前車輪の取り付け



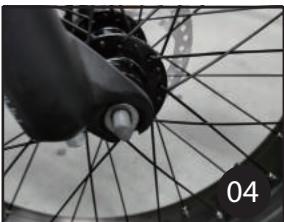
▶ 前輪を用意します。  
中軸についてある部品を取り外します。



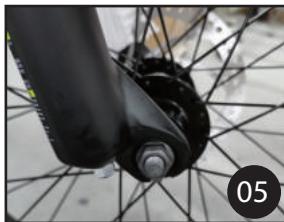
▶ ディスクブレーキが左側  
にあるように前輪を取り付けます。



▶ 図示する部品を一枚つけます。

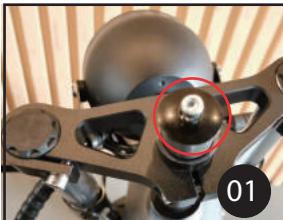


▶ このようになります。



▶ ナットをしっかりと締めます。反対側も同じようにワシャーとナットを取り付けます。

## ● ハンドル部の取り付け



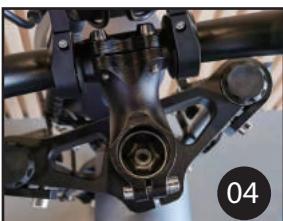
▶ ネジを緩め、図示の部品を取り外します。



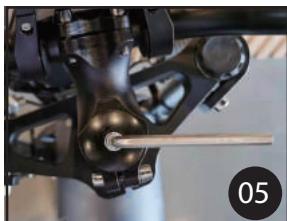
▶ 01の部品を取り外したら、このようになります。



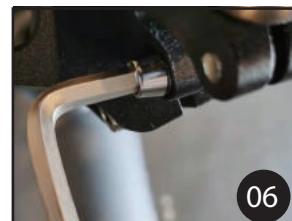
▶ ハンドル側を用意します。



▶ ハンドルを02のパーツに取り付けます。



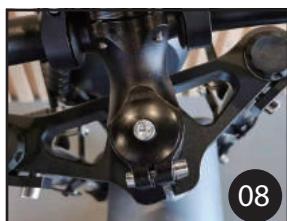
▶ 01で外した部品を戻し、工具でネジを締めます。



▶ 左側のネジも締めます。



▶ 右側も同じようにネジを締めます。



▶ ハンドル取り付け完了です。



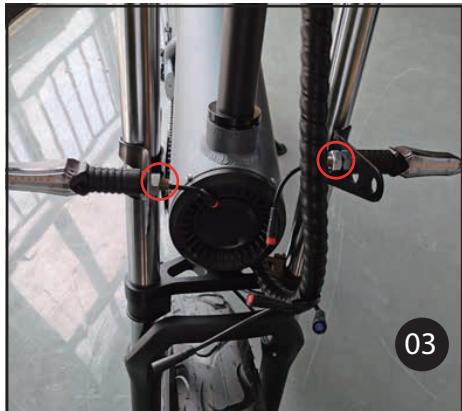
## 前ウインカーの取り付け



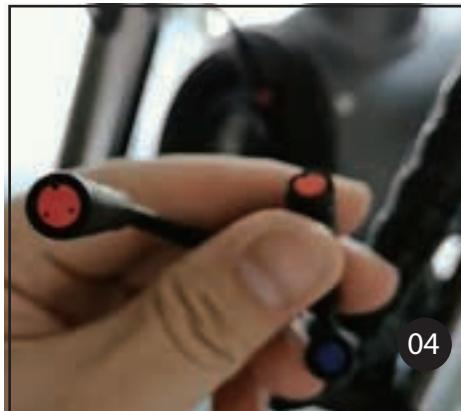
▶ ウインカーを反対側に回します。



▶ 回したら、このようになります。



▶ 図示のネジをしっかりと固定します。



▶ 車体から出た赤色のスケッチのコードと繋ぎます。  
※車体から出た赤色のスケッチのコードは2本あります。  
長いほうは右側のウインカーに繋ぎます。  
短いほうは左側のウインカーに繋ぎます。



## ヘッドライトの取付



01

- ▶ ヘッドライトを用意します。



02

- ▶ ワシャーとナットを取り外します。



03

- ▶ ヘッドライトを取り付けます。  
ネジをしっかりと締めます。



04

- ▶ ヘッドライトのコートと車体から出た青いスケッチ  
のコードと繋ぎます。



05

- ▶ しっかりと最後まで差し込みます。

## ● サドルの取り付け



- ▶ クイックレバーを緩め、ポストの高さを調整します。  
調整後、しっかりとクイックレバーを閉めます。

- ▶ ポストの高さを調整する際、  
-00の線が見えないように調整する必要があります。



- ▶ バッテリーを取り外す際、ポストを図のように、-00の線より、大体 6 センチ下まで上げる必要があります。



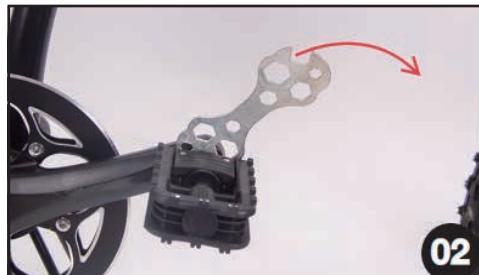
## ペダルの取り付け

ペダルのねじ部先端にR/ L印字があります。R：右側用、L:左側用

### 右側用ペダル固定



01



02

- 手で回転軸を時計回りで回しながら少し差込孔に入れます。
- 工具を使ってしっかりと固定します。

※無理やり最初から工具で取り付けると、ねじ孔のねじ模様を壊す場合がありますので、手で少し固定できてから工具を使ってください。

### 左側用ペダル固定



03



04

- 右側と同様の操作となりますが、回り方向は時計反対回りとなります。

## ● テールランプの取り付けとワインカーと使い方



01



02

▶ ネジがしっかりと締めているかどうかとチェックします。

▶ 図のように、緑色のスケッチのコードと繋ぎます。



03



04



05

右に押すと

右前ワインカーポイント

右後ろワインカーポイント



06

ブレーキすると



07

ブレーキランプ点灯



## バックミラーの取り付け



バックミラーをつけます





## 充電のしかた(1)

本体に電源を差し込むだけで充電できます。充電口はフレーム後部にあります。



01



02

充電器のランプは、充電中に赤く表示され、充電完了時は緑になります。



## 充電のしかた(2)



01



02

- ▶ バッテリーロック専用キーを外してから、  
バッテリーを取り外します。

- ▶ 好きな場所で充電します。

※バッテリーを取り外す時、バッテリー本体を反対側端子に接触させないこと。ショートする可能性があります。  
※充電完了後、上記と反対手順でバッテリーを取り付けます。

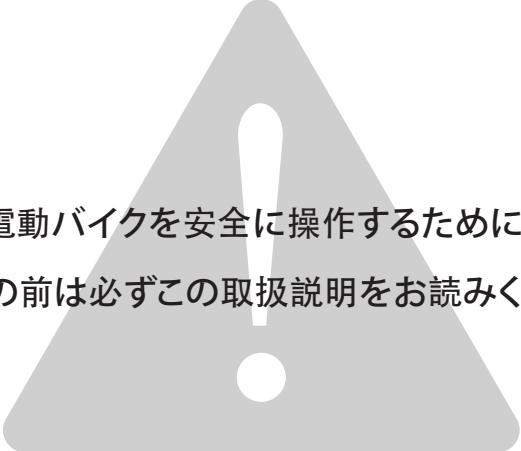


**注意** 充電が完了したら、充電アダプタ/電源コードを外してください。

液晶マルチファンクションディスプレイ  
取扱説明

---





電動バイクを安全に操作するために、  
ご使用の前は必ずこの取扱説明をお読みください。

## 操作ユニットボタンの説明

COSWHEEL スマート e バイクの液晶ディスプレイの操作ユニットには、五つのボタンがあります。それぞれ、**①**()(②)()(③)()(④)()(⑤)()になります。



長押しすることで、電源をオン、オフすることができます。



パワーランク (0 ~ 3) を下げるボタンです。



パワーランク (0 ~ 3) を上げるボタンです。

※パワーランク

0:自転車モード

1: 26 KM/H

2:36 KM/H

3:45 KM/H

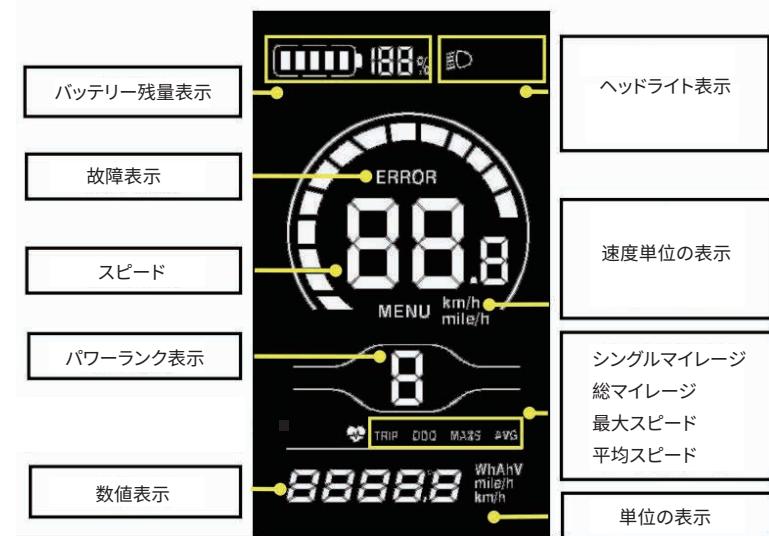
以上はバッテリー満タンで空回しの状態での数値です。



表示内容を切り替えるボタンです。具体的には、電源をオンにした状態で、このボタンを押すことで、次の順で表示を切り替えることができます：シングルマイレージ(KM)→総マイレージ(KM)→最大スピード (KM/H)→平均スピード (KM/H)→走行時の出力



ヘッドライトをハイビームにするボタンです。再度押すと、ヘッドライトがロービームに切り替えます。



## バッテリー残量表示

バッテリー残量表示はLED段数に示されます。

点滅する時は、バッテリーが残量不足になり、充電を要します。



# バイクの乗り方

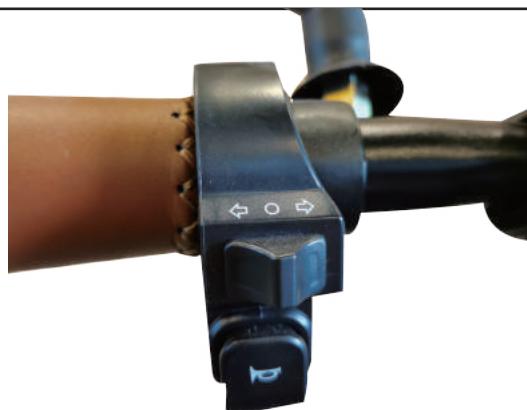


## 電源のいれ方



01

- ▶ キーを右に回します。その後、液晶ディスプレイの電源を入れます。  
電源をオフにする際は、先に液晶ディスプレイの電源をオフにしてから、  
キーを左に回して、抜きます。  
スペアキーはございませんので、大事に保管ください。



02

- ▶ ウインカーとクラクションのボタンです。

# 各種パラメーター詳細設定の説明

## ① パラメーター設定画面の入り方

- (1) “+” “-” を同時に2秒以上押すと、設定画面に入ります。
- (2) “+” または “-” を押すことで、各種パラメーター設定画面を切り替えることができます。設定したい画面になりましたら、“■” を押すことで、設定値は変更できる状態になります。
- (3) “+” または “-” を押すことで、設定値を変更します。
- (4) 再び “■” を押すと、変更された設定値が保存され、設定画面に戻ります。

## ② 各種パラメーターのご説明



1: シングルマイレージをゼロにクリアする設定画面です。  
tC-n: シングルマイレージをゼロにクリアしない  
tC-y: シングルマイレージをゼロにクリアする



2: スクリーンの明るさを設定する画面です。  
bL-1, bL-2, bL-3 はスクリーンの明るさを表示します。  
bL-1: 最も暗い  
bL-2: 普通程度  
bL-3: 最も明るい。

### 注意

シングルマイレージをクリアする設定とスクリーンの明るさの設定は、必要により、変更することができますが、ほかの項目は出荷時メーカーにより設定済であり、ご利用者様による変更はお勧めいたしません。  
(車両性能に影響を及ぼす可能性があります)。よって、こちらではほかの項目の説明は省略とします。

## ✖ ハイブリッド・電動バイク・自転車モードの走行

### ハイブリッドモードの走行



▶ キーを右に回します。



▶ 液晶ディスプレイの電源を入れます。



▶ ペダルを漕ぐとハイブリッドモード走行します。

### 電動バイクモードの走行



▶ キーを右に回します。



▶ 液晶ディスプレイの電源を入れます。



▶ スロットルを回すと、電動モード走行します。

※電動モードでもペダルを漕ぐと、ハイブリッドモード走行できます。

### 自転車モードの走行



▶ 電源OFFのままにします。

※電源入れないときは、電動バイクモードスイッチは動作しません



▶ 普通の自転車のように走行します。

※自転車モードでも原付扱いのため、法律に従って走行してください。



※パワーランクが0の場合、バイクは自転車モードになります。



## COSWHEEL SMART EVの日常点検チェックシート

バイクは、ご使用に伴い、各部が痛んだりネジがゆるんだりしてきます。これらを放置して使用を続けると大変危険です。安全にご使用頂くために、乗車前に必ず点検をお願いします。



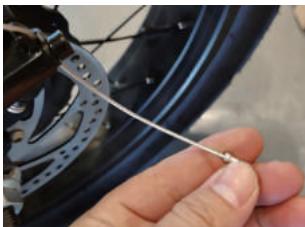
- ① 前輪を足で固定してハンドルを動かした時に、力を入れてもハンドルが回ったり、抜けたりしないことを確認する。



- ② スロットルを回した時に、スムーズに戻るかを確認する。  
※必ず電源を切った状態で行うこと



- ③ 左右のブレーキレバーを強く握った時に、グリップとレバーの隙間が  $1/2 \sim 1/3$  になるまでに、ブレーキがロックすることを確認する。



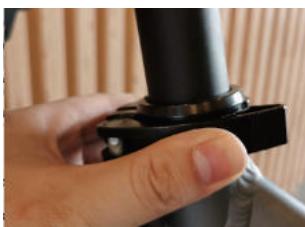
- ④ 前後のブレーキのワイヤーに、サビや切れがないかを確認する。



- ⑤ 前後輪ロックネジは緩みはないかを確認する。緩みはありましたら直ちに固定すること。



- ⑥ サドルポストは、限界標識（“-00-”）が隠れるまで差し込まれているかを確認する。



- ⑦ サドルポストの高さ調整レバーは確実に固定されていることを確認する。



- ⑧ サドルの前後を持って、上下・左右に動かす。力を入れても回ったり、抜けたりしないことを確認する。



- ⑨ ペダルの上下左右方向から力を加えた時、ガタつきがないことを確認する。



⑩ サイドスタンドのネジがしっかりとしているかを確認する。



⑪ タイヤに十分空気が入っていて、空気圧はタイヤに記載した気圧範囲内になっていることを確認する。



⑫ タイヤに布目が見えるような深いキズがないこと、接地面の模様が十分残っていることを確認する(残溝1mm以上)。



⑬ ナンバープレートはフェンダーと接触ないように両サイドの固定用ネジをしっかりと調整・固定されるかを確認する。※ナンバープレートとフェンダーとの接触はフェンダーを傷つけ、走行中接触音・フェンダーフックの原因になります。



⑭ 電源入った状態で電動バイクを押し歩く際、クランクは車輪回りのペースで回ることはないかを確認する。



⑮ テールランプやナンバープレートを取り付けるネジがしっかりと固定されているかどうかを確認する。

車輪回りのペースで回ることはありましたら、電動バイクの仕様によりアシストセンサーは動作するので、車両はスピードを出すことになり、極めて危険です。チェン・クランク回りの点検は直ちに行ってください。また電動バイクを押し歩く際、電源を切ること(必ず行うことにしてください)や、クランクは無意識に回さないことや、スロットルを無意識に回さないことをご留意ください。

## 製品仕様

フレーム材質	6061アルミニューム
展開サイズ	全長1630mm 全幅600mm 全高1050mm
バッテリー	48v/15Ah リチウムイオン電池
充電時間	約6h※1
車両重量	35kg
バッテリー装着重量	40kg
タイヤサイズ	20*4.0インチ
電動走行距離	35km~50km※2
定格出力	0.50Kw
最高速度	45km※3

※1 充電時間については、バッテリーの残容量により変わります。

※2 当社調べのため、走行時の気象、道路、整備などの諸条件によっては走行できる距離が変わります。

※3 最大速度は走行状況により変化します。

## 保管と手入れ

### 保管場所

電動バイクは次のような場所に保管してください。また、保管の際はカバーをかけてください。

- 平らで安定しているところ
- 風通しが良く、湿気のないところ
- 雨つゆや直射日光の当たらないところ

### 長期保管をするときは

電動バイクを一ヶ月以上使用しないで保管するときは、次のことを行ってください。

- バッテリーを満充電にしてから保管する
- バッテリーを電動バイク本体から取り外して適した場所で保管する
- 保管に適した温度 (-20~20°C を推奨)で保管する
- 3ヶ月に1回は充電する。

### 長期保管した後に使用するときは

長期保管した後に再び 電動バイクを使用するときは、次のことを行ってください。

- バッテリー残量がない場合には、充電してから使用する
- 6ヶ月を越えたら点検整備を受ける

## 点検・整備項目



**強制**

以下の点検項目を参考にして、定期的に点検を行ってください。



**注意**

異常を感じた場合は定期点検と関係なく、点検を受けてください。

点検項目	点検期間						
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
	2ヶ月	6ヶ月	1年	1年半	2年	2年半	3年
1 アシスト機能は正常に作動するか 異音がしないか							
2 モーターからグリス漏れがないか							
3 電気配線の接続部にゆるみ 損傷がつかないか							
4 コードの断線がないか、フレームへの取付は適切か							
5 バッテリーの取付け状態は確実か							
6 表示ランプは点灯するか							
7 バッテリーの消耗が早くなっているか							

## 故障かな?と思ったら

こんなときは	ご確認ください	対処方法
電源が入らない	充電されていますか?	バッテリーを充電してください
電源は入るが、モーターが動かない(操作スイッチは表示されて、バッテリーの残量も十分であることが表示されている)	ブレーキをかけていませんか?	発進時はブレーキをかけないでください。ブレーキレバーがしっかりと戻っていることを確認してください。
バッテリーが満充電状態ではないのに充電ができない	バッテリーと充電アダプターが正しくセットされていますか?	発進時はブレーキをかけないでください。ブレーキレバーがししきりと戻っていることを確認してください。
	バッテリーが完全放電していませんか	バッテリーから充電接続コネクターを、充電アダプターから電源コードを一旦抜いて、もう一度各コネクター/コードを接続しなおしてください

こんなときは	ご確認ください	対処方法
走行距離が短い	充電されていますか?	バッテリーを充電してください
	バッテリーを長期間使用せずに放置していましたか?	充電が完了したバッテリーでも長期間使用しなかった場合には自然に放電してしまうため、残量がなくなっていることがあります
	坂道の連続走行や、悪路などの過酷な走行をしませんでしたか?	道路条件や変速位置等により走行距離が短くなります
	気温は低くないですか?	冬季や寒冷地においてはバッテリーが冷えているため、バッテリーの特性上、容量が低下したり、走行距離が短くなります
	気温は高くないですか?	高温で放置した場合は、バッテリーの残量が減少することがあります
	使い込んだバッテリーを使用していませんか?	バッテリーの寿命と思われます。新しいバッテリーをご購入頂き、交換してください。

## 製品保証

本保証書に記載の内容に従い、お買い上げの電動バイクを保証いたします。

### 【保証規定】

- 1.本規定は、出荷後の保証を当社が定めたものです。
- 2.本規定は、日本国内での使用のみに適用されます。日本の道路運送車両法に基づき製造、販売しております。日本国外への持ち運び、使用は一切できません。
- 3.各部品の不良等は保証期間に基づき対応致します。

### 【保証期間】

保証を受ける際、ご購入の日から1年になります。走行距離が3,000kmを超えた際は期間に関係なく保証の対象外となります。

※部品によって保証期間が異なります。

※タイヤ、チューブ、バルブ、ペダル、ブレーキ等の消耗品は保証の対象外となります。

※取り付け工具等のサービス品は保証の対象外となります。

※分解、改造は保証の対象外となります。

### 【保証対象部品】

本体/バッテリー（60%以下に低下しないこと）/モーター/ハンドル/ナンバー灯/アダプター/液晶ディスプレイ

※正しい使用法にて、使用し不良が発生した場合のみ保証させて頂きます。

### 【保証範囲】

本製品が保証期間内に正常な使用状態で故障した場合に保証規定により1年間の修理または交換対応をいたします。ただし商品発送の際に掛かる費用に関しては負担致しかねます  
保証対象外となる項目は以下のようになります。

- 1.製品保証書が無い場合、もしくは中古車販売、個人売買により製品を所有した場合
- 2.取り扱い上での輸送中の落下、取り扱いが不適当なために生じた故障並びに損害の場合
- 3.他製品を接続したことによる故障、動作保証を行っていない機器やケーブルを接続したことによる故障の場合
- 4.不適当な使用環境、保管状況によって起こる故障、消耗品の交換。
- 5.砂地、砂利道等の舗装のされていない道路を長期間走行したことによって発生した部品の不良、故障、部品の損傷。
- 6.経年劣化によって発生する不具合（塗装面の剥がれ、メッキ部のサビ、その他）
- 7.走行上問題の無い、使用環境、使用状態、保管状態によって左右される現象（音、振動、バッテリー充電容量の低下）
- 8.製品の分解、修理、改造によって発生した故障や損傷など
- 9.地震、噴火、津波などの天災や、戦争などの紛争による損害

## 【次に示す費用は負担致しかねます】

1. 修理に対する保証対象部品の修理にかかった工賃
2. 法定に定められた継続検査に伴う点検整備の費用
3. 本製品が使用できることによって発生した損失、費用
4. 本保証書に示す以外の費用、保障など

## 【お客様に守って頂きたい事項、免責事項】

1. 製品を正常に使用していただくためには、必ず製品の日常点検を行って頂く必要があります。点検を怠った事が起因として発生した故障、修理に関しては保証対象外となりますので必ず実施して下さい。
2. 法令で準じられた点検、整備は必ず実施して下さい。お客様にて点検ができない場合、お近のバイク取り扱い店、販売代理店または当社へご相談下さい。
3. 製品寿命、経年劣化、過度な連続稼動による製品の故障、外観の変色、モニターの画面の焼付き(画面ムラ)は保証対象外となります。

## 【修理について】

1. 出張修理は行っておりません。  
保証対象となった場合でも商品発送に掛かる費用は負担致しかねます。
2. 当社にて修理を行い、費用が発生した場合、当社へ修理代金のお支払を頂いたことを確認してからの返送になります。

製品のカラー、仕様、価格は都合により予告なく変更される場合があります。

製品のカラーは、実際のカラーと若干異なる場合があります。

製品のデータ、写真等の無断転用はお断りいたします。

# (保証書)

お客様	ご住所			
	フリカナ			
	ご氏名			
お買上げ車	お買上げ日		ブランド名	
	車種名		カラー	
	サイズ		車体番号	
メーカー	 <b>COSWHEEL</b>			
	<b>SHENZHEN COSWHEEL TECHNOLOGY CO., LIMITED</b>			
	Tel : 0755-86564885	Fax : 0755-86564885	Email: support@coswheel.com	
	Address: Room 809, Unit C, Block A, Huameiju, Zone 82, Haiyu Community Xin'an Street, Bao'an District, Shenzhen			
日本代表代理店	 <b>Acalie</b> Make and Spread More Enjoyment			
	<b>株式会社Acalie</b> <a href="https://coswheel.jp/">https://coswheel.jp/</a> 〒451-0034 愛知県名古屋市西区樋の口町1-15 ホーワビル2階 Tel:052-750-0362 Fax:052-308-6589 Email:service@ali-jp.com			
				



株式会社Acalie  
<https://coswheel.jp/>

---

Tel :  
052-750-0362

Fax :  
052-308-6589

Email:  
service@ali-jp.con

---

Address:

〒451-0034 愛知県名古屋市西区樋の口町1-15 ホーワビル2階